

0848

51

国
産
原
油
・
無
水
ア
ル
コ
ー
ル

1781

一 國産原油

(單位 千疋)

年次	十三年	十四年	十五年	十六年
産出高	四一〇	五〇〇	六〇〇	七〇〇

我国石油資源ノ不足ニ就テハ既ニ屢々論セラレ、ソノ結果種々ノ補填對策カ講セラレツツアリ。國産原油ノ増産ニトラルヘキ對策ハ次ノ二ツナリ。

1. 試掘ノ擴充ニ依ル新油田ノ開發

2. 既存油田ノ深層追掘

試掘ニ對シテハステニ補助金其他ノ助成方法採用サレツツアルモ、既存油田ノ増産方法ニ関シテハ近來漸ク坑道掘其他カ話頭ニ上ルニ至リタル状態ナリ。

坑道掘採油法ハ既存油田ノ「地下ニ遺留スル七〇—八〇%ノ殘留油ヲ殆ント完全ニ回收シ得ル」ノテアルカ若シ日本ノ既存油田ニ於テ今日マテノ總産油量ヲ約一、三〇〇万瓩トスレハ今尙ホ既存油田ノ地下ニ

三、〇〇〇一五、二〇〇万甕ノ石油ヲ遺留セシメテ居ル。ソレ故ニ若シ此法ヲ適當ナルニ、三ノ既存油田ニ実施スルトスレハ、現在日本ノ産油量ヲ假リニ其一〇〇%増産スルコトハ難業テハアルマイ。」(東大上床国夫博士「ザク層試掘ト坑道掘」石油時報十月号所載)

地質構造上坑道掘ニ適スル油田ハ新津東山、桂根等最適ナリト云ハル。坑道掘ノ速カナル実施、政府ノ適切ナル助成必要ナリ。シカモ本法ハソノ經費石炭液化事業ニ比較スル時ハ極メテ僅少ニテ、地下含油砂ノ採鑛技術ニ関シテモ今日ノ我カ進歩セル技術ノ前ニハ問題ニ非ス。ソノ成果ハ期シテ待ツヘキモノアリ。

尙深油層ノ追掘探査等相俟ツテ行ハルルトキハ国内原油ノ増産ハ相當望ミアリトミラル。即チ、前掲十四年以後ニ於ケル數量ハ之等ニヨル増産ヲ期待シテ計上セルモノナリ。

企 畫 院 案

(單位 千疋)

年次	現在能力	十三年	十四年	十五年	十六年
生産高	四一〇	四一〇	四四〇	五〇〇	六〇〇

註、() 内物動計畫「總供給額」

企 業 院 案		(單位 千 軒)			
年 次	現在能力	十三年	十四年	十五年	十六年
東 亞 酒 精	木 崎			四三〇〇〇石	
理 化 學 興 業	操 業 中				
神 谷 傳 兵 衛 商 店	操 業 中				
帝 國 清 酒	操 業 中				
朝 鮮 無 水 酒 精				二〇〇〇〇	
東 北 興 業	青 森・館 村 (十 四・四 月 完 成 豫 定)			二〇〇〇〇	
日 本 酒 造	山 口・防 府 (未 定)			二〇〇〇〇	
生 産 高	五 六	一 〇 三	一 九 七	三 〇 三	四 〇 二